



我妻とお議会レポート

No. 70

ゆきしろ

我妻徳雄事務所

米沢市大字口田沢1308-2

TEL. FAX 0238-31-2212

メール waga1308@ms3.omn.ne.jp

6月議会

プラスチックごみ

削減に向けて分別ルール変更

6月定例会（議会）において、地球規模で問題となっている「プラスチックごみ削減の取組みについて」来年11月に開院する米沢市立病院の「新病院への機能移行等について」一般質問しました。また、予算特別委員会では中学校給食の共同調理方式（センター化）の市民説明会の開催について質問しました。

プラスチックごみ回収拡大へ

「とくお」安価で便利なプラスチック製品は、社会に欠かせないものになっています。一方でプラスチックは、自然界で分解されず海洋に流出したり、焼却により地球温暖化の原因となる二酸化炭素を排出したりと、環境問題を深刻化させています。

本年4月1日より「プラスチックに係る資源環境の促進等に関する法律」が施行されました。本市では、現在はプラスチック容器包装やペットボトルなどは資源物として収集されますが、その他のプラスチック製品はごみとして収集しています。それを分かりやすい分別ルールに変更し、プラスチック資源回収量の拡大を図るものです。法の趣旨に則って、ルールの変更が必要ではないでしょうか。



「市民環境部長」法律により分別の基準を改めて策定し、その基準に従って適正に分別し、排出されるよう市民の皆様周知する努力義務が課せられています。プラスチックの分別ルールを変更したいと考えています。変更には再資源化事業者との調整や、置賜広域行政事務組合とも協議が必要など、ごみ処理基本計画等の見直しなどと並行して協議等を進めていきます。

プラスチックごみ削減宣言を

「とくお」リサイクルをするにも多くの費用がかかります。プラスチックごみその物を削減することが、環境面、経費面からみても重要です。昨年11月時点で全国の166自治体



「市長」この社会生活をどのように変化させプラスチックごみを削減していくか、様々な手法を検討する必要があります。本市は、ゼロカーボンシティ宣言を行い、環境循環型の活動団体にも認定されています。環境に対する意識も高くなっています。プラスチックごみ削減に向けて、市民意識のさらなる醸成が重要と考えています。その手だての一つとして『プラスチックごみ削減宣言』の手法も検討します。

新市立病院の医療収益大幅増の見込み

「とくお」米沢市立病院の新病院建設も順調に進み、来年11月に開業の見込みです。開業年度から大幅な医療収益の増を見込んでいます。その根拠を教えてください。

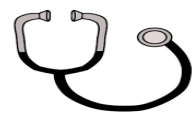
「病院事業管理者」新病院の開院から医療収益が増加している主な要因は、入院収益の増加によるものです。入院収益については、市立病院と三友堂病院の入院患者を急性期と回復期に振り分け、それぞれの患者数や診療単価を算出



した結果、両病院の急性期を当院に集約した分として患者数は、開院前と比較して約2,000人増加し、診療単価も約1万2,000円増加すると見込んでいます。

医療の機能分化進む

新体制では市立病院のベッド数が263床、三友堂が199床となります。両病院に集約される機能は、市立病院が救急、化学療法、手術、高額放射線検査、血液などの検体検査、病理検査の機能、入院機能として重症患者を診るハイケアユニット（HCU）です。三友堂病院は透析、健診と人間ドック、訪問看護、給食機能、入院機能として地域包括ケア病棟を受け持ちます。



「プラスチック資源循環法新法」を考える

我妻とくお 一般質問から

「プラスチックに係る資源環境の促進等に関する法律」は、製品の設計から廃棄物の処理まで、プラスチックの流通全体的における資源の循環等の取組を促進するための法律です。この法律は、基本的にプラスチックが使用されている製品全てが対象となります。

生活様式の見直しが必要では

環境負荷を小さくし、

これまでプラスチック容器包装やペットボトルは、資源ごみとして回収リサイクル等が行われてきました。しかし、荷締めなどに使うPPバンドや、ビニール製雨合羽、網戸の網、ビニールシート、クリアファイルなど100%プラスチック製でも可燃

リサイクル費用を減らすには使い捨てプラスチックをなるべく使わない工夫が必要で、生活様式を見直すことから始めましょう。



一般質問の様子は米沢市議会のホームページから映像で見ることができます

●..... どうだべなあ

▼6月27日の大雨により市内各所に避難勧告指示が出され、土砂災害も発生しました。そして、数日後に梅雨明け宣言がありました。しかし、7月に入っても雨も落ち着かない天候が続いています。ある程度の雨であれば『恵みの雨』となりますが、ここ最近の雨は、短時間に大量の水を落とし、甚大な被害も発生しています。農作物に対する影響も非常に心配です。▼新型コロナウイルスの猛威は収まることなく、山形県内でも感染者数が急拡大しています。重症化率は低くなっているものの、感染抑制と、社会経済活動の両立について、どのように行動するのが望ましいのか、悩ましいところだと思います。感染対策に万全を期すことに心がけましょう。(曾)

我妻とくおホームページ

<http://www3.omn.ne.jp/~waga1308/>

議員活動を公開